科目名	ITソリューション							年度	2026
英語科目名	IT Solution							学期	後期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科　1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	塚本	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		

【科目の目的】

システムエンジニアとしてITを活用したソリューションを提供することや効果的なシステム開発ができることを目的とし、その知識と手法を習得する。
最新技術の理解や業界動向の把握を行うために講義やディスカッションを中心とした授業展開、また企業の方をゲストに迎えての特別講義も開講する。

【科目の概要】

下記について重点的に取り組んでいく
・最新技術の理解や業界動向
・問題解決能力の向上
・ディスカッション能力の向上
・レポート作成能力の向上

【到達目標】

ルーブリック各項目レベル4以上を到達目標とし、習得したスキルを就職活動や卒業制作で活かせることを到達目標とする

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	問題・課題を発見し、情報をもとに判断し、解決することができ、次の課題につなげることができる	問題・課題を発見し、情報をもとに判断し、解決することができる	問題・課題を発見し、情報をもとに判断し、周りの力を借りながら解決することができる	問題・課題を発見し、情報をもとに判断し、一部解決ができている	問題・課題を発見し、情報をもとに判断し、解決が十分にできていない
到達目標 B	ITの技術動向をよく理解し説明することができる	ITの技術動向をよく理解できている	ITの技術動向を理解できている	ITの技術動向を一部理解できている	ITの技術動向を理解できていない
到達目標 C	ITの業界動向をよく理解し説明することができる	ITの業界動向をよく理解できている	ITの業界動向を理解できている	ITの業界動向を一部理解できている	ITの業界動向を理解できていない
到達目標 D	ディスカッションルールに則り、積極的に発言することができる	ディスカッションルールに則り、発言することができる	ディスカッションルールに則り、周りの意見を聞くことができる	ディスカッションルールが理解できず、ディスカッションに参加できない	ディスカッションに参加できない
到達目標 E	レポート作成ルールに則り、授業で理解したことをもとにレポート作成し、発表並びに質疑応答対応ができる	レポート作成ルールに則り、授業で理解したことをもとにレポート作成することができる	レポート作成ルールに則り、周りの力を借りながら授業で理解したことをもとにレポート作成することができる	レポート作成ルールに則り、周りの力を借りながら授業で理解したことをもとに部分的にレポート作成することができる	レポート作成ルールに則り、授業で理解したことをもとにレポート作成することができない

【教科書】

無し

【参考資料】

LMSを通じて授業資料を配布する

【成績の評価方法・評価基準】

○課題点 60点配分：毎回、授業で課される課題の取り組みを評価。4点～0点×15回=60点配分 未提出は0点。提出内容により4～0点の評価をします。※但し、提出課題が全15回の授業のうち、11回未満は不合格。
○中間課題、期末課題 40点配分 ：授業進捗や理解度により、中間課題・期末課題の実施方法を決定する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ITソリューション	年度	2026
英語表記	IT Solution	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	本講義の概要の解説、受講するにあたってのオリエンテーション	本講義の目的、到達度を理解する	1	本講義の目的	本講義の目的を理解するができる	1	
			2	本講義の到達目標	本講義の到達目標を理解することができる		
2	ITソリューションとは	ITソリューションを理解する	1	ITソリューションとは	ITソリューションを理解することができる	1	
3	ITソリューション事例紹介	ITソリューション事例を知る		ITソリューションの事例紹介	ITソリューションの事例を理解することができる	1	
4	問題解決技法①	問題解決の手法を理解する	1	問題とは	「問題とは」を理解することができる	1	
			2	問題解決とは	「問題解決とは」を理解することができる		
5	問題解決技法②	問題解決の手法を理解する	1	問題解決フレームワークを知る	問題解決フレームワークを理解することができる	1	
6	問題解決技法③	問題解決の手法を理解する	1	問題解決フレームワークの活用	問題解決フレームワークを活用することができる	1	
7	特別講義①	特別講義①	1	特別講義の聴講	特別講義の聴講	1	
			2	聴講のまとめ	聴講したことをまとめあげることができる		
8	ケースディスカッション	特別講義①をもとにグループディスカッション	1	ディスカッションルールについて	ディスカッションルールを理解することができる	1	
			2	ディスカッション①-1	ディスカッション能力の向上		
9	ケースディスカッション	特別講義①をもとにグループディスカッション	1	ディスカッション①-2	ディスカッション能力の向上	1	
10	特別講義②	特別講義②	1	特別講義の聴講	特別講義の聴講	1	
			2	聴講のまとめ	聴講したことをまとめあげることができる		
11	ケースディスカッション	特別講義②をもとにグループディスカッション	1	ディスカッション②-1	ディスカッション能力の向上	1	
12	ケースディスカッション	特別講義②をもとにグループディスカッション	1	ディスカッション②-2	ディスカッション能力の向上	1	
13	レポート作成	総まとめレポート作成①	1	レポート作成の仕方	レポート作成の仕方・ルールを理解できる	1	
			2	レポート作成	これまでの授業内容や理解をまとめることができる		
14	レポート作成	総まとめレポート作成②	1	レポート作成	これまでの授業内容や理解をまとめることができる	1	
15	振り返り・まとめ	第01～14回までの振り返り・まとめを行う	1	振り返り・まとめ	これまで習った内容についての理解度を測る	1	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等